

トランプのアメリカ

—2017年の国際情勢

東京大学大学院教授 藤原 帰一

- * これまでとは異質な大統領
- * 分裂の危機に直面するNATO
- * 流言飛語の飛び交う虚報の政治
- * マジョリテイの反逆
- * 保守に広がる排外思想
- * 停滞と反グローバリズム
- * EU脆弱化につながるリスク
- * 異次元の緊張を呼ぶ対中政策
- * 中東における米国のジレンマ
- * 世界が下降に向かわないために



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
新年も内外とも問題が色々ありますが、当倶楽部も張り切って講演会を続けさせていただけたいと思います。よろしくお願いたします。

それでは年初に世界の情勢を藤原先生にお伺いすることにいたしました。ご存じのようにアメリカの新政権が誕生し、ヨーロッパでは次々と新しい動きが出てくる。それもどちらかと言うと、あまりありがたくない展開になる可能性があるということで、われわれは世界情勢を注視しているわけです。今日は皆さんおなじみの藤原先生から、その辺りをどう読み解くか、じっくりお話を伺えると思います。

では、先生、よろしくお願いたします。（拍手）

藤原 皆様こんにちは。また経済倶楽部でお話をする機会を与えていただきましてたいへん感謝しております。特にトランプ氏が大統領に当選することはないだろうと申し上げた人間を、それでも呼んでくださったことに心から感謝申し上げます（笑）。

たいへんなショックが続いた1年間でした。まず、イギリスがEUを離脱するという国民投票が決まった。これをきっかけとして首相は辞任、新たにメイ首相が就任した。そして昨年11月には、大統領選挙でドナルド・トランプ氏が当選するということになりました。これがいったいどういう世界を招いていくことになるのかについて申し上げたいと思いますが、とにかく予測が外れた人間の話ですから、当てになりま